

2009年12月7日

報道関係者各位

YRPユビキタス・ネットワークング研究所
T-Engineフォーラム
ユビキタスIDセンター

ユビキタスIDセンターが提唱するユビキタスIDアーキテクチャを ヨーロッパへ発信

YRPユビキタス・ネットワークング研究所（東京都品川区、所長：坂村健・東京大学教授、以下:UNL）は、欧州EU政府のRFID関連技術の研究プロジェクトであるCASAGRASプロジェクト（Coordination and Support Action for Global RFID-related Activities and Standardization、<http://www.ietf.org/>）に、日本唯一のフルメンバーとして参加しました。その結果、CASAGRASプロジェクトの最終報告書で、ユビキタスIDセンター（東京都品川区、代表：坂村健・東京大学教授）が推進するユビキタスIDアーキテクチャ(以下、uIDアーキテクチャ)が重要な技術として詳しく紹介されました。

このCASAGRASプロジェクトは、2008年1月より、RFIDに関連した技術の開発や国際標準化に関して調査と基礎研究を行い、将来の欧州EU政府の技術政策に反映させるための報告をする、EU予算で運営される大型プロジェクトです。国際標準と新しい技術を調査するために、日本や米国、中国、韓国からパートナーが募られ、UNLが日本唯一のフルメンバーとしてCASAGRASプロジェクトに参加しました。2009年10月にロンドンで行われた公開の報告会で最終報告書が一般に発表され、その中にユビキタスIDセンターが提唱するRFIDアプリケーションの枠組である、uIDアーキテクチャが重要な技術として詳しく紹介されました。

今後、EU政府ではこれらの調査報告に基づき、大規模な実証実験などを行うことが予定されています。現在、EU政府はuIDアーキテクチャに高い関心を寄せており、UNLには、CASAGRASの後継プロジェクトのCASAGRAS-2プロジェクトでの共同提案、共同研究の申し込みが多数寄せられています。UNLでは、こうした機会を活かし、ユビキタスID技術を欧州へ展開し、欧州標準・国際標準の獲得に向けた普及活動を本格化します。

なお、EUにおけるRFID利用に関連して、国際シンポジウム及び展示会であるTRONSHOW2010（主催：T-Engineフォーラム／社団法人トロン協会、場所：東京ミッドタウン、会期：2009年12月9日～11日）で、EU諸国でのRFIDの展開を知ることができるセッションが下記の通り開催されます。多くの方々のご参加をお待ちしています。

記

TRONSHOW2010国際セッション

「Internet of Things : EUにおけるRFIDの利用、政策、現状と展望」

日時 :

2009年12月10日 (木) 13:00~14:15

コーディネータ :

- 井村亮 (株式会社日立製作所 理事 情報通信グループ事業主管)

パネリスト :

- Dr. Sebastian Lange (VDI/VDE/IR Consultant, Innovation Europe)
- Dr. Barbara Rhode (Minister-Counsellor, Head of the Science and Technology section, Delegation of the European Commission)

セッション概要 :

ヨーロッパではネットワークとRFID を使って、実世界と仮想世界を融合する取組みのことを IoT、Internet of Thingsの略で呼ぶことが多い。2010年春開始予定の欧州次期FP7プロジェクトに関する方針、内容紹介、また欧州委員会 (EC) と総務省、経済産業省が進める日欧ICT連携のもとでの活動の展望を政府、民間の関係者が語る予定である。

【本件に関するお問い合わせ】

YRPユビキタス・ネットワーキング研究所 (担当 : 山田純、石川千秋)

Tel : 03-5437-2270

e-mail : press@ubin.jp